



R4年3月1日発行

日に日に厳しい寒さも和らぎ、春の陽気を感じられるようになりました。

りす組で過ごすのも残り1か月となりました。入園、進級当初は泣きながら登園し、部屋に入ってもお母さんやお父さんを探していた子どもたちも、今ではお友だちや保育者に「おはよう」と声を掛けたり一緒に遊ぶ姿が見られるようになりました。

1歳児りす組の年間目標は「自分でやってみようとする力を育てる」です。この1年間の中で、食事や着替え、排泄、支度など自分でできる、やってみようとする姿がたくさん見られるようになってきました。できない時には、できないことを泣いて訴えていた子どもたちも、今では「やって」と言葉で伝えることができるようになっています。また、自分でやると言っても保育者の手伝いを嫌がる姿も見られるようになっています。

2歳前後から見られる「イヤイヤ期」はよく耳にする言葉だと思いますが、ほぼ同時期にやってくると言われてるのがなんでも自分でやりたがる「やるやる期」です。この時期のイヤイヤは親の力を借りずに自分でやりたいという自立心の表れの為、ちょうどイヤイヤ期と同じ時期に何でも自分でやりたがるやるやる期が始まると言われています。お母さんとの一体感「母子一体感」が強い時期を経て、子どもは自律性が強くなると人に制御されずに自分が決めたルールで行動したいという気持ちが強くなるそうです。また、生まれた時から親から守られて育つことで失敗や挫折を経験したことがない為、自我の芽生える時期に「自分は何でもできる」という気持ちを抱くようになります。その為、親の手を借りずに自分で何でもやってみたいという感情が強くなって、できないことも「できる!」「やりたい!」となるのです。保護者の方は忙しい時に「自分で」と何でもやりたがる子どもに時間がかかりイライラしてしまうこともあるかと思いますが、これは1つの大切な成長過程です。自分で出来ると自信にも繋がります。ぜひ時間がある際は見守ってあげ、出来た際はたくさん褒めてあげてください!

保護者の皆様には、1年間たくさんのご協力を頂きまして、ありがとうございました。何かと至らない点がありましたが、元気で明るいきりす組の子どもたちと一緒に、毎日楽しく過ごせたこと感謝しております。

☆今月のねらい☆

- ・身の回りのことを自分でする。
- ・保育者や友だちとやりとりをして遊ぶ。

☆活動予定☆

散歩…本町公園、石川橋公園
北町上宿公園など
室内…お絵かき、粘土、
指先を使った遊びなど
1歳児交流…本園園庭や公園等での交流

